

看護婦自身が抱く現実像と理想像とマスメディア像の構造

佐々木和義*, 臼井千津*, 中田康夫*, 河口真奈美*,
渡部真理^{2*}, 真嶋由貴恵^{3*}, 佐藤健二^{4*}

神戸市看護大学, ^{2}Oregon Health Science University, ^{3*}岡山工科大学大学院, ^{4*}早稲田大学

Structure of Realistic Image, Ideal Image, and Image in Mass Media which Nurses Have

Kazuyoshi SASAKI*, Chizu USUI*, Yasuo NAKATA*, Manami KAWAGUCHI*,
Mari WATANABE^{2*}, Yukie MAJIMA^{3*}, Kenji SATOU^{4*}

Kobe City College of Nursing, ^{2}Oregon Health Science University,
^{3*}Okayama University of Science, ^{4*}Waseda University

Abstract

The purpose of this study was to know the structures of images of female nursing staffs. 64 adjectives were collected, then rated with five points scales (Inadequate(1)~Adequate(5)) according to three types of images (realistic image, ideal image, image in mass media) by 171 female nursing staffs.

The data were analyzed with factor analysis, and some factors were obtained for each image. In a realistic image, five factors were obtained: occupation image, positive personality, negative personality, appearance, female image. In an ideal image, five factors were obtained: positive professional image, academic image, negative professional image, female image, appearance. In image in mass media, three factors were obtained: general occupation image, positive female image, negative female image.

Key words: structure of image (イメージ構造), nurse (看護婦), realistic image (現実像), ideal image (理想像), image in mass media (メディア像)

はじめに

看護婦に対するイメージ、および看護職に対するイメージに関する最近の研究における調査対象者は、看護学生(大学生, 短期大学生, 専門学校生)が最も多く、次いで病院勤務の看護婦である¹⁾。

われわれ²⁾は、171名の看護婦を対象として、現役の看護婦自身が描く現実の看護婦像(以降、現実像)と、理想とする像(以降、理想像)と、マスメディアの中に描かれている像(メディア像)とについて、64項目を「弱い~強い」の4段階で評定を求めた。その結果、現実像では、「体力が必要」、「忙しい」、「観察力を要す」、「白衣」、「責任感のある」で評定値が高く、「めめしい」と「卑わい」で評定値が低かった。一方、理想像では、「責任感のある」、「正確な」、「観察力を

要す」、「専門的」、「健康的な」、「技術の熟達」など24項目で評定値が高く、「めめしい」、「卑わい」、「恐ろしい」、「陰険な」、「冷たい」、「セクシーな」で評定値が低かった。この現実像と理想像との間では、64項目中、60項目で有意差がみられ、両者には乖離が大きいことが明らかとなった。他方、メディア像では、「白衣」、「キャップ」、「白い靴」、「美人」、「明るい」で評定値が高く、これらはいずれも現実像の評定値よりも有意に高く、メディアで誇張されて描かれていた。また、現実像とメディア像との間では、64項目中、57項目で有意差がみられ、この両者にも乖離が大きいことが明らかとなった。このように、イメージ像の間に差が大きいのであれば、各々の構造には違いがあることが想定される。

看護婦に対するイメージ(以降、看護婦イメージ)、

および看護職に関する職業イメージ（以降、看護職イメージ）の構造を因子分析によって検討したものが散見される。

林ら²⁾は、看護短期大学生263名を対象として、看護婦イメージに関しては、20項目を「全くあてはまらない～非常にあてはまる」の5段階で評定させて、「やさしさ・あたたかさ」、「仕事の大変さ」、「知的専門職」の3因子を得た。さらに、看護職イメージに関しては、別の20項目を同様の5段階で評定させて、「仕事のやりがい」と「職業としての安定性」の2因子を抽出した。そして、進路選択について満足している者は、「仕事の大変さ」よりも、「やさしさ・あたたかさ」と「仕事のやりがい」を強く感じており、満足していない者は、「仕事のやりがい」よりも「仕事の大変さ」を強調していることを報告した。

上大迫ら³⁾も、看護専門学校生531名を対象として、看護婦イメージと看護職イメージを検討した。その結果、看護婦イメージに関しては、39項目を「全くそうは思わない～全くそう思う」の6段階で評定させることによって、「親和性」、「堅実性」、「知性」、「外見性」の4因子を得た。看護職イメージに関しては、39項目を同様に6段階で評定させることによって、「自己実現」、「体力・知力」、「社会的貢献度」、「職場環境」の4因子を得た。そして、「親和性」と「外見性」は学年が進むにつれて低下するが、「堅実性」と「知性」という「看護婦の内面的なイメージ」は変化しないという結果を報告した。

石井と平元⁴⁾は、短期大学部看護学科生と看護専門学校生を対象として、入学時と臨地実習開始前に、「看護に対するイメージ」を、20対の形容詞と形容動詞を7段階のSD法で評定させた。因子分析の結果、「看護就労希望」、「看護の価値」、「看護の活動」、「看護婦の性格」、「看護婦の外観」の5因子を得た。そして、因子得点は、「看護の活動」因子では短大生が他よりも有意に低く、「看護婦の性格」因子では短大生が専修2年課程生よりも有意に高く、「看護婦の外観」因子では専修3年課程生が短大生よりも有意に高いことを報告した。

縄ら⁵⁾は、新規採用の看護婦56名に対して、病院看護婦と自分についてのイメージを、10対の形容詞を7段階のSD法で評定させることによって調べた。因子分析の結果、病院看護婦に対するイメージは、「価値」、「行動」、「人柄」の3因子で構成されており、自己イ

メージは、「能力」、「人格」、「性格」の3因子で構成されており、両者では構造が異なることを示した。縄ら⁵⁾は、「病院ナースには看護婦の理想像を求め、自分には生身の人間をみており、まさに理想と現実を表わしている」と考察している。

このように、個々の先行研究を検討すると、4論文のうち3論文の対象者は短大生か専門学校生であり、現役の看護婦でも新規採用者である。現在、看護職に就いている対象者に関しては未調査である。また、われわれが実施したイメージ調査⁶⁾のように、現実像と理想像を同一項目で検討したものは見当たらない。

本研究では、われわれが実施したイメージ調査⁶⁾で用いた64項目について因子分析を行うことによって、現実像と、理想像、メディア像のイメージ構造を明らかにすることが目的である。

方 法

調査対象者：本研究の対象者は、われわれの行った研究⁶⁾と同一の対象者である。すなわち、都市部と郡部にある100床以上の病院に勤務する現役の看護婦171名（平均年齢＝33.8歳）である。そのうち、高校卒業後に看護専門学校を卒業した者が71%であり、一般看護婦が78%で、病棟勤務が85%である。

手続き：調査期間は、平成9年1月から3月の間であり、勤務先の病院を通して趣旨を説明し、調査票を配布した。一部の病院では一括して回収したが、多くは郵送による回収とした。回答は自由意志とし、個人は特定できないようにした。

同一の64項目からなる調査票を用いて、看護職の現実像、理想像、メディア像の順序で、各項目がイメージにどの程度あてはまるかを、「弱い(1)」、「やや弱い(2)」、「やや強い(3)」、「強い(4)」で評定を求めた。実際の教示は、現実像については、「あなたは現実に関心する看護婦・士に対してどのようなイメージをもっていますか？」であり、理想像については、「あなたにとって理想とする看護婦・士とはどのようなイメージですか？」であり、メディア像については、「あなたはテレビドラマや雑誌の記事などに描かれる看護婦・士像に対してどのようなイメージをもっていますか？」であった。

データ処理：主成分分析を経て、主因子法バリマックス回転による因子分析を行った。因子数の決定には、まず累積寄与率落差と累積寄与率によって、現実像、理想像、メディア像それぞれの因子数を決定した。そこで、各因子への負荷量が一定値未満の項目を除外して再度因子分析を行うことを繰り返すことにした。この操作は、現実像、理想像、メディア像の各因子を構成する項目すべての因子負荷量が一定値以上となり、各因子の解釈が可能となるまで行った。この一定値(0.40, ないしは0.50)と、因子数の決定法は、各イメージ像に対して同一とした。

結 果

まず、固有値落差と累積寄与率をみて、現実像では5因子が、理想像では5因子が、メディア像では3因子が抽出された。そこで、因子数を現実像では5、理想像では5、メディア像3と指定して、構成する各因子への負荷量が一定値未満の項目を除外して、再度因子分析を行ったところ、一定値が0.40の場合に、同様の因子が抽出された。再度、因子負荷量が0.40未満の項目を除外して因子分析を行ったところ、すべての因子において因子負荷量が0.40以上となり、解釈も可能であったので、因子分析を終了した。

1) 現実像

54項目が残り、10項目が落ちた。因子分析の結果はTable.1に示した。5因子の累積寄与率は、46.85%であり、α係数は第1因子から、それぞれ0.91, 0.90, 0.78, 0.73, 0.60であった。

複数の因子に0.40以上の因子負荷量のある項目は8項目であった。第1因子は23項目で、第2因子は18項目、第3因子は10項目、第4因子は5項目、第5因子は5項目で構成されていた。

2) 理想像

58項目が残り、8項目が落ちた。因子分析の結果はTable.2に示した。5因子の累積寄与率は、50.37%であり、α係数は第1因子から、それぞれ0.91, 0.92, 0.85, 0.77, 0.86であった。

複数の因子に0.40以上の因子負荷量のある項目は9項目であった。第1因子は23項目で、第2因子は16項目、第3因子は13項目、第4因子は8項目、第5因子は4項目で構成されていた。

Table 1 現実に働く看護婦・士に対するイメージの因子分析結果

| (有効サンプル数=171) | | 因子負荷量 | | | | |
|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 項 目 | | | | | | |
| 第1因子：職業イメージ (α=0.91) | | | | | | |
| 33 探求的な | .72 | .04 | .02 | .03 | -.03 | |
| 47 科学的 | .70 | .11 | .05 | -.07 | -.05 | |
| 60 研究的 | .68 | .10 | .17 | -.04 | .11 | |
| 38 応用性がある | .67 | .13 | -.14 | .16 | .21 | |
| 37 理性的 | .66 | .06 | -.08 | .20 | .25 | |
| 48 勤勉な | .63 | .22 | .01 | -.02 | .10 | |
| 56 技術の熟達 | .62 | .19 | -.06 | .05 | -.24 | |
| 40 専門的 | .62 | .28 | -.05 | .13 | -.16 | |
| 39 コミュニケーションが上手 | .58 | .28 | -.28 | .16 | .02 | |
| 54 理論的 | .57 | .22 | .21 | .03 | -.21 | |
| 57 信頼できる | .54 | .47 | -.25 | .01 | -.10 | |
| 64 将来性のある | .53 | .19 | .07 | .17 | .14 | |
| 35 管理的 | .53 | .04 | .19 | .09 | .05 | |
| 46 テキパキ | .53 | .38 | -.12 | .11 | -.08 | |
| 53 倫理的 | .50 | .30 | .11 | -.01 | -.12 | |
| 31 安定した | .48 | .12 | .11 | .11 | .17 | |
| 34 協調性のある | .48 | .43 | -.23 | .15 | -.09 | |
| 52 自立 | .46 | .30 | .20 | .33 | -.30 | |
| 50 価値のある | .45 | .40 | .20 | -.12 | .06 | |
| 19 育ちの良い | .45 | .08 | .06 | -.14 | .49 | |
| 29 緻密な | .44 | .16 | .06 | .04 | .14 | |
| 55 観察力を要す | .41 | .37 | .02 | .15 | -.46 | |
| 18 知的な | .40 | .47 | -.05 | .08 | .21 | |
| 第2因子：肯定的性格行動傾向 (α=0.90) | | | | | | |
| 25 あたたかい | .18 | .72 | -.08 | -.09 | .00 | |
| 7 やさしい | .11 | .71 | -.17 | .08 | .37 | |
| 10 清潔な | .22 | .69 | -.13 | .12 | .28 | |
| 16 活発な | .19 | .65 | .16 | .01 | -.04 | |
| 9 誠実な | .20 | .65 | -.10 | -.02 | .35 | |
| 11 明るい | .05 | .64 | -.13 | .02 | .16 | |
| 20 健康的な | .17 | .62 | -.11 | .17 | -.17 | |
| 45 さわやかな | .28 | .61 | -.11 | .10 | .06 | |
| 21 やりがいのある | .36 | .59 | -.06 | .03 | -.14 | |
| 22 正確な | .38 | .52 | -.07 | .06 | -.16 | |
| 15 責任感のある | .45 | .50 | -.24 | .05 | -.03 | |
| 59 親しみやすい | .36 | .48 | .07 | .00 | -.04 | |
| 18 知的な | .40 | .47 | -.05 | .08 | .21 | |
| 57 信頼できる | .54 | .47 | -.25 | .01 | -.10 | |
| 34 協調性のある | .48 | .43 | -.23 | .15 | -.09 | |
| 6 清楚な | .08 | .41 | -.11 | .15 | .52 | |
| 24 体力が必要な | -.04 | .40 | .02 | .12 | -.22 | |
| 50 価値のある | .45 | .40 | .20 | -.12 | .06 | |
| 第3因子：否定的性格行動傾向 (α=0.78) | | | | | | |
| 62 恐ろしい | .05 | -.26 | .67 | .07 | .07 | |
| 58 威圧的 | .07 | -.05 | .65 | .13 | -.08 | |
| 51 気が強い | .03 | .26 | .60 | .26 | -.26 | |
| 12 めめしい | -.30 | -.07 | .59 | -.11 | .32 | |
| 27 陰険な | -.01 | -.24 | .57 | -.01 | .03 | |
| 14 卑わい | -.24 | -.04 | .55 | .10 | .29 | |
| 23 冷たい | -.09 | -.18 | .52 | -.02 | .19 | |
| 44 プライドが高い | .29 | -.02 | .50 | .16 | .05 | |
| 61 個性的 | .24 | .28 | .49 | -.13 | -.02 | |
| 49 保守的 | .26 | -.07 | .41 | .00 | -.09 | |
| 第4因子：外見上看護婦イメージ (α=0.73) | | | | | | |
| 2 キャップ | .06 | .04 | .04 | .78 | .05 | |
| 1 白衣 | .19 | .06 | -.06 | .73 | -.07 | |
| 4 白い靴(ナースシューズ) | .06 | .04 | .07 | .71 | .14 | |
| 3 白いストッキング | .14 | .11 | .25 | .55 | .14 | |
| 5 美人 | -.03 | .11 | .15 | .40 | .53 | |
| 第5因子：女性イメージ (α=0.60) | | | | | | |
| 5 美人 | -.03 | .11 | .15 | .40 | .53 | |
| 13 かわいい | .01 | .19 | .25 | .37 | .53 | |
| 6 清楚な | .08 | .41 | -.11 | .15 | .52 | |
| 19 育ちの良い | .45 | .08 | .06 | -.14 | .49 | |
| 55 観察力を要す | .41 | .37 | .02 | .15 | -.46 | |
| 固有値 | 8.54 | 7.00 | 4.03 | 2.90 | 2.84 | |
| 寄与率 (%) | 15.81 | 12.96 | 7.45 | 5.37 | 5.26 | |
| 累積寄与率 (%) | 15.81 | 28.77 | 36.22 | 41.60 | 46.85 | |

Table 2 理想とする看護婦・士に対するイメージの因子分析結果

| (有効サンプル数=171) | | 因子負荷量 | | | | |
|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 項目 | | | | | | |
| 第1因子：肯定的専門イメージ (α=0.91) | | | | | | |
| 55 観察力を要す | .78 | .24 | .06 | -.11 | .04 | |
| 22 正確な | .78 | .23 | -.04 | .04 | .04 | |
| 20 健康的な | .74 | .21 | .04 | -.01 | .00 | |
| 15 責任感のある | .73 | .22 | .00 | .03 | -.05 | |
| 25 あたたかい | .70 | .09 | -.10 | .26 | .05 | |
| 56 技術の熟達 | .69 | .33 | .00 | -.02 | .11 | |
| 57 信頼できる | .69 | .26 | -.28 | .01 | .00 | |
| 10 清潔な | .65 | -.02 | -.05 | .54 | -.17 | |
| 21 やりがいのある | .63 | .17 | -.10 | .28 | -.01 | |
| 39 コミュニケーションが上手 | .59 | .32 | -.22 | .22 | .05 | |
| 11 明るい | .57 | .03 | -.08 | .55 | -.25 | |
| 40 専門的 | .53 | .28 | -.09 | .08 | -.01 | |
| 59 親しみやすい | .51 | .35 | -.30 | .23 | .06 | |
| 9 誠実な | .51 | .12 | .05 | .58 | -.19 | |
| 46 テキパキ | .50 | .41 | .03 | .02 | .10 | |
| 45 さわやかな | .47 | .27 | -.11 | .22 | -.09 | |
| 18 知的な | .46 | .43 | .05 | .22 | -.04 | |
| 48 勤勉な | .46 | .59 | -.08 | .09 | .08 | |
| 16 活発な | .44 | .29 | -.01 | .15 | .04 | |
| 7 やさしい | .44 | .00 | .03 | .68 | -.04 | |
| 38 応用力がある | .43 | .58 | -.14 | .17 | -.11 | |
| 52 自立 | .43 | .48 | -.06 | .03 | -.05 | |
| 34 協調性のある | .40 | .56 | -.08 | .27 | .03 | |
| 第2因子：学究的イメージ (α=0.92) | | | | | | |
| 54 理論的 | .24 | .74 | -.01 | .07 | -.19 | |
| 47 科学的 | .21 | .71 | .04 | -.09 | -.08 | |
| 53 倫理的 | .21 | .71 | -.01 | .06 | -.18 | |
| 60 研究的 | .28 | .65 | -.02 | -.03 | .08 | |
| 33 探求的な | .19 | .64 | .01 | .16 | -.08 | |
| 37 理性的 | .22 | .62 | .09 | .28 | -.03 | |
| 50 価値のある | .37 | .62 | -.08 | .16 | .07 | |
| 48 勤勉な | .46 | .59 | -.08 | .09 | .08 | |
| 38 応用力がある | .43 | .58 | -.14 | .17 | -.11 | |
| 34 協調性のある | .40 | .56 | -.08 | .27 | .03 | |
| 36 経済的観念のある | .15 | .55 | .15 | .38 | -.08 | |
| 61 個性的 | .11 | .50 | .15 | .09 | .05 | |
| 52 自立 | .43 | .48 | -.06 | .03 | -.05 | |
| 64 将来性のある | .34 | .47 | -.23 | .19 | .03 | |
| 29 緻密な | .16 | .45 | .13 | .21 | -.04 | |
| 28 楽しい | .36 | .41 | -.31 | .32 | -.03 | |
| 第3因子：否定的専門イメージ (α=0.85) | | | | | | |
| 30 危険のある | .01 | -.08 | .69 | .04 | .12 | |
| 62 恐ろしい | -.15 | -.05 | .67 | -.14 | .09 | |
| 58 威圧的 | -.15 | .07 | .65 | .08 | .00 | |
| 26 忙しい | .07 | -.11 | .65 | .01 | .18 | |
| 42 汚い | -.02 | -.06 | .64 | -.03 | .10 | |
| 27 陰険な | -.12 | -.03 | .63 | .02 | .02 | |
| 32 低賃金の | .09 | -.27 | .62 | -.04 | .20 | |
| 51 気が強い | -.12 | .30 | .59 | .04 | .01 | |
| 23 冷たい | -.11 | .09 | .51 | .00 | .12 | |
| 35 管理的 | .12 | .39 | .50 | .15 | .07 | |
| 44 プライドが高い | -.13 | .31 | .48 | .15 | .11 | |
| 49 保守的 | .03 | .01 | .48 | .13 | .26 | |
| 43 従順 | -.03 | .04 | .45 | .29 | .23 | |
| 第4因子：女性イメージ (α=0.77) | | | | | | |
| 7 やさしい | .44 | .00 | .03 | .68 | -.04 | |
| 9 誠実な | .51 | .12 | .05 | .58 | -.19 | |
| 6 清楚な | .10 | .20 | .11 | .56 | .23 | |
| 13 かわいい | .01 | .15 | .06 | .54 | .23 | |
| 19 育ちの良い | -.02 | .32 | .10 | .52 | .09 | |
| 63 女らしい | .11 | .17 | .09 | .52 | .14 | |
| 5 美人 | -.11 | .15 | -.08 | .49 | .46 | |
| 8 たくましい | .38 | .14 | .14 | .48 | -.01 | |
| 第5因子：外見上看護婦イメージ (α=0.86) | | | | | | |
| 4 白い靴 (ナースシューズ) | .06 | -.09 | .13 | .07 | .85 | |
| 2 キャップ | .03 | -.14 | .16 | .05 | .83 | |
| 1 白衣 | -.01 | -.08 | .19 | .13 | .82 | |
| 3 白いストッキング | .00 | -.10 | .35 | .11 | .56 | |
| 固有値 | 8.91 | 7.51 | 5.29 | 4.21 | 3.30 | |
| 寄与率 (%) | 15.36 | 12.94 | 9.11 | 7.25 | 5.70 | |
| 累積寄与率 (%) | 15.30 | 28.31 | 37.42 | 44.67 | 50.37 | |

Table 3 メディア像に対するイメージの因子分析結果

| (有効サンプル数=171) | | 因子負荷量 | | |
|--------------------------------|-------|-------|-------|--|
| 項目 | | | | |
| 第1因子：複合的職業イメージ (α=0.91) | | | | |
| 55 観察力を要す | .82 | -.03 | -.09 | |
| 56 技術の熟達 | .81 | .00 | -.12 | |
| 38 応用力がある | .81 | .16 | -.04 | |
| 48 勤勉な | .80 | .09 | -.06 | |
| 40 専門的 | .80 | .12 | -.11 | |
| 53 倫理的 | .80 | .10 | .12 | |
| 60 研究的 | .79 | .06 | .09 | |
| 33 探求的な | .79 | .09 | .14 | |
| 54 理論的 | .76 | .13 | .12 | |
| 64 将来性のある | .76 | .14 | .05 | |
| 47 科学的 | .76 | .05 | .11 | |
| 50 価値のある | .73 | .12 | -.03 | |
| 37 理性的 | .73 | .17 | -.01 | |
| 57 信頼できる | .72 | .26 | -.19 | |
| 52 自立 | .72 | .01 | .03 | |
| 36 経済的観念のある | .71 | .00 | .16 | |
| 29 緻密な | .68 | .17 | .14 | |
| 34 協調性のある | .64 | .16 | -.01 | |
| 15 責任感のある | .64 | .39 | -.02 | |
| 30 危険のある | .63 | -.05 | .27 | |
| 18 知的な | .63 | .35 | -.06 | |
| 22 正確な | .63 | .38 | -.03 | |
| 35 管理的 | .62 | .00 | .33 | |
| 46 テキパキ | .61 | .36 | -.19 | |
| 24 体力が必要な | .61 | .07 | .03 | |
| 39 コミュニケーションが上手 | .59 | .25 | -.14 | |
| 21 やりがいのある | .56 | -.36 | -.02 | |
| 26 忙しい | .55 | .04 | .02 | |
| 31 安定した | .51 | .21 | .25 | |
| 17 きびしい | .48 | .12 | .22 | |
| 59 親しみやすい | .47 | .42 | -.26 | |
| 49 保守的 | .46 | .05 | .28 | |
| 25 あたたかい | .43 | .63 | -.11 | |
| 20 健康的な | .43 | .58 | -.06 | |
| 61 個性的 | .41 | .12 | .27 | |
| 16 活発な | .41 | .58 | .03 | |
| 第2因子：肯定的女性イメージ (α=0.90) | | | | |
| 6 清楚な | .16 | .74 | .02 | |
| 7 やさしい | .13 | .74 | -.16 | |
| 10 清潔な | .28 | .73 | -.06 | |
| 11 明るい | .04 | .70 | -.06 | |
| 45 さわやかな | .32 | .68 | -.14 | |
| 9 誠実な | .36 | .67 | -.11 | |
| 25 あたたかい | .43 | .63 | -.11 | |
| 5 美人 | -.01 | .61 | .26 | |
| 1 白衣 | .00 | .59 | .13 | |
| 16 活発な | .41 | .58 | .03 | |
| 20 健康的な | .43 | .58 | -.06 | |
| 4 白い靴 (ナースシューズ) | .00 | .57 | .18 | |
| 2 キャップ | -.05 | .57 | .17 | |
| 13 かわいい | -.13 | .54 | .11 | |
| 28 楽しい | .25 | .47 | .01 | |
| 59 親しみやすい | .47 | .42 | -.26 | |
| 第3因子：否定的女性イメージ (α=0.82) | | | | |
| 62 恐ろしい | -.02 | -.09 | .68 | |
| 27 陰険な | .06 | -.05 | .67 | |
| 58 威圧的 | .13 | -.07 | .66 | |
| 23 冷たい | .03 | -.04 | .66 | |
| 41 セクシーな | -.07 | .15 | .65 | |
| 14 卑わい | -.22 | .10 | .62 | |
| 12 めめしい | -.14 | -.04 | .59 | |
| 51 気が強い | .33 | .07 | .54 | |
| 44 プライドが高い | .36 | .23 | .47 | |
| 43 従順 | .15 | .09 | .42 | |
| 固有値 | 16.48 | 7.39 | 4.66 | |
| 寄与率 (%) | 28.41 | 12.73 | 8.03 | |
| 累積寄与率 (%) | 28.41 | 41.14 | 49.18 | |

3) メディア像

58項目が残り、8項目が落ちた。因子分析の結果はTable.3に示した。3因子の累積寄与率は、49.18%であり、 α 係数は第1因子から、それぞれ0.91、0.90、0.82であった。

複数の因子に0.40以上の因子負荷量のある項目は3項目であった。第1因子は36項目で、第2因子は16項目で、第3因子は10項目で構成されていた。

考 察

1) 現実像

累積寄与率が46.85%であり、 α 係数は第1、第2因子が非常に高く、第3、第4、第5因子も相当に高い値なので、この5因子構造は内的整合性が高いと判断された。

第1因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「探求的な」、「科学的」、「研究的」、「応用力がある」、「理性的」、「勤勉な」、「技術の熟達」、「専門的」(0.60以上)であり、学究的イメージや専門的イメージを含んでいる。他の項目には、「将来性のある」や、「テキパキ」、「倫理的」、「協調性のある」などがあることも考慮すると、第1因子は「職業イメージ」因子と命名した。

第2因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「あたたかい」、「やさしい」、「清潔な」、「活発な」、「誠実な」、「明るい」、「健康的な」、「さわやかな」(0.60以上)であり、いずれも性格傾向を表わすものである。さらに、あたたかさや、やさしさ等の静的な傾向のみでなく、活発とか、健康的等の動的な傾向を表わす項目も含まれている。したがって、第2因子は「肯定的性格行動傾向」因子と命名した。

第3因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「恐ろしい」、「威圧的」、「気が強い」(0.60以上)、「めめしい」、「陰険な」、「冷たい」など、やはり性格傾向を表わすものである。しかし、第2因子とは反対の方向なので、対比させて、「否定的性格行動傾向」因子と命名した。

第4因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「キャップ」、「白衣」、「白い靴」、「白いストッキング」であり、服装を表わす項目が並んでおり、「外見上看護婦イメージ」因子と命名するのが適当と考えられた。

第5因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、

「美人」、「かわいい」、「清楚な」、「育ちのよい」などが並び、外見を表わすが、第4因子のように服装面での外見ではないので、「女性イメージ」と命名した。

第1因子の「職業イメージ」と第2因子の「肯定的性格行動傾向」因子とが、イメージ構造上大きな部分を占めており、これらの側面を中心として、自己像を捕らえていると考えられる。しかし、寄与率は両者ほどではないが、第3因子に「否定的性格行動傾向」も存在する。したがって、性格行動面を肯定的な面と否定的な面に分けて捉えているが、現実像全体では職業の面と性格行動面が自己像の核と考えられる。

2) 理想像

累積寄与率が50.37%であり、 α 係数は第1、第2、第3、第4、第5因子とも非常に高い値なので、この5因子構造は内的整合性が高いと判断された。

第1因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「観察力を要す」、「正確な」、「健康的な」、「責任感のある」、「あたたかい」、「技術の熟達」、「信頼できる」、「清潔な」、「やりがいのある」(0.60以上)であり、仕事に関するイメージが並んでいる。しかし、現実像の第1因子とは項目の構成が異なるので、「肯定的専門イメージ」因子と命名した。

第2因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「理論的」、「科学的」、「倫理的」、「研究的」、「探求的な」、「理性的」、「価値のある」(0.60以上)であり、科学性や研究志向性を表わしている。したがって、「学究的イメージ」因子と命名した。

第3因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「危険のある」、「恐ろしい」、「威圧的」、「忙しい」、「汚い」、「陰険な」、「低賃金の」(0.60以上)であり、看護職に伴う危険とか汚さなどの否定的な側面を表わしている。したがって、「否定的専門イメージ」と命名した。

第4因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「やさしい」、「誠実な」、「清楚な」、「かわいい」であり、現実像の第5因子と同様な項目であり、「女性イメージ」因子と命名した。

第5因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「白い靴」、「キャップ」、「白衣」、「白いストッキング」と、現実像の第4因子と同一の項目であり、「外見上看護婦イメージ」因子と命名した。

寄与率をみると、「肯定的専門イメージ」と「学究

的イメージ」が理想像の中心を占めていると考えられる。しかし、寄与率はあまり高くはないが、第3因子に「否定的専門イメージ」が存在するので、専門イメージも、肯定的な側面と否定的な側面とを明確に意識していることが分かる。

3) メディア像

累積寄与率が49.18%であり、 α 係数は第1, 第2, 第3因子とも非常に高い値なので、この3因子構造は内的整合性が高いと判断された。

第1因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「観察力を要す」、「技術の熟達」、「応用力のある」、「勤勉な」、「専門的」、「倫理的」、「研究的」、「探求的な」、「理論的」、「将来性のある」(0.76以上)など、現実像の第1因子の23項目中22項目が入っていた。この他に、「経済的観念のある」、「責任感のある」、「危険のある」、「正確な」、「体力が必要な」(0.60以上)等の項目も入っており、仕事の様々な側面を表わす項目が入っている。したがって、「複合的職業イメージ」と命名した。

第2因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「清楚な」、「やさしい」、「清潔な」、「明るい」、「さわやか」、「誠実な」、「あたたかい」、「美人」(0.60以上)などで構成されており、女性のイメージを表わしていると考えられた。

また、第3因子を構成する項目は、因子負荷量の高い順に、「恐ろしい」、「陰険な」、「威圧的」、「冷たい」、「セクシーな」、「卑わい」(0.60以上)等で構成されており、これも女性のイメージを表わしている。しかし、第2因子と第3因子では、異なる側面を表わしており、前者は肯定的側面であり、後者は否定的側面である。したがって、第2因子は「肯定的女性イメージ」因子と命名し、第3因子は「否定的女性イメージ」因子と命名した。

「複合的職業イメージ」が、因子負荷量が際立って大きく、構成する項目数も多いので、イメージの大きな部分を占めていると考えられる。しかし、第2因子と第3因子は、異なる側面を表わしているが、いずれも女性イメージであり、メディアに登場する看護婦を看護婦自身は複合的な職業イメージと女性イメージと捉えていると言える。

4) 総合考察

看護婦自身が考えるイメージ像の構造は、現実像は理想像と異なり、マスメディアに登場する看護婦像とも異なるものであった。

現実像と理想像とで因子構造が異なるということは、臨床現場で働く看護婦が現実像には必ずしも満足していないと考えることができる。その視点で理想像の因子構造、ならびに構成項目をを検討すると、現実像とのギャップが明確になる。理想像では、第1因子が「肯定的専門イメージ」であり、第2因子は「学究的イメージ」であった。この2つの因子を構成する項目の多くは、現実像の第1因子の「職業イメージ」を構成する項目である。ということは、現実の看護業務の中に渾然一体として存在する専門職としての側面と学究的な側面とを明確に区別した方向を志向していると考えられる。また、現実像でみられた性格行動面はイメージ構造の中に存在しなかった。現実像では看護婦自身も性格行動面を意識してはいるが、志向はあくまでも職業人としての看護職であり、それもかなり明確に分化したものだと考えられる。この意味で、多少拡大解釈をすれば、現実と理想の狭間で悩みつつも、理想を志向している看護婦像が浮き上がってくるといえよう。

また、専門職としての側面と学究的な側面とを明確に区別した方向を志向しているということは、それに対するニーズが存在しているということである。したがって、それを満足させるような何らかの教育システムやサービスが提供されることが重要である。

マスメディアに登場する看護婦を看護婦自身は複合的な職業イメージと女性イメージと捉えていると考えられるのだが、メディア像の第1因子の「複合的職業イメージ」を構成している項目を検討すると、現実像の第1因子の「職業イメージ」因子に、さらに現実像の第2, 第3因子の性格行動傾向が渾然と加わっている。また、メディア像の第2, 第3因子はいずれも、「女性イメージ」である。したがって、マスメディアに登場する看護婦像は、看護婦が捕らえる現実像からは、また、理想像からはさらに後退したものであるといえる。

今後は、少数ながらも徐々に増えつつある看護師のイメージ構造も検討し、看護職について再考していく計画である。

文 献

- 1) 臼井千津, 渡部真理, 真嶋由貴恵, 他: わが国の看護婦イメージに関する構造的分析研究, 神戸市看護大学紀要, 1: 49-57 (1997).
- 2) 林喜美子, 松本明美, 姫井富貴子: 看護婦と看護職のイメージに影響を及ぼす諸因子, 川崎医療短期大学紀要, 10: 61-66 (1990).
- 3) 上大迫, 石原俊一, 中島美代子, 他: 看護イメージに関する研究(1)-看護学生における看護職イメージについて-, 第24回日本看護学会収録-看護教育-, 178-180 (1993).
- 4) 石井範子, 平元泉: 学校種別にみた看護学生の看護に対するイメージについて-入学時と臨地実習開始前の比較-, 第18回日本看護科学学会学術集会講演集, 258-259 (1998).
- 5) 縄秀志, 上泉和子, 島田陽子, 他: 新規採用看護婦の自己イメージ, ナースへのイメージ及び仕事への期待の変化について-リアリティショックの予防策を考える-, 第24回日本看護学会収録-看護管理-, 146-148 (1993).
- 6) 臼井千津, 中田康夫, 佐々木和義, 他: 看護婦自身が抱く現実と理想, マスメディアのイメージの差, 神戸市看護大学紀要 3: 113-122 (1999).

(受付: 1998年12月25日; 受理: 1999年2月17日)